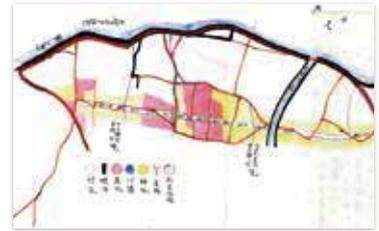


昭和40年(1965):ながせ商店街。大正12年オープン「豊岡劇場」は、戦後「文化劇場」と名をかえ、おもに日活映画を上映した。宣伝幕は、石原裕次郎主演『城取り』と、渡哲也初主演『あばれ騎士道』のもの。



上.明治19年(1886)「新道工事願」添付の下街道付け替え予定図 中央の白い道が付け替え後の下街道 下.大正11年(1922):「多治見・豊岡両町略地図」当時の街並みがわかる

## 長瀬本町通りの変遷

「ながせ商店街」のある長瀬本町通り。前号で紹介した下街道の一部です。もとは土岐川堤防沿いを通っていた多治見橋以北の下街道ですが、大雨のたびに冠水するため、明治20年(1887)に長瀬本町通りの場所に付け替えられました。本町3・4丁目境の五差路は、一部重複する「今渡街道」との分岐点でした。

明治33年(1900)に中央線(名古屋―多治見間)が開通。駅への主要道となった長瀬本町通りには、商店が軒を連ね、荷馬車や荷車がひんばんに行き来するようになりました。大正期の地図からも、駅から本町3丁目にかけて運送会社や商人宿、4丁目には生活雑貨や日用品の店が立ち並んでいた様子がうかがえます。

戦後は、駅前商店街、新町商店街とともに、日用品を安く提供する市営マーケットを開設、高度成長期以降は大型店も進出し、近隣からの買い物客が後を絶ちませんでした。

現在は、従来の店のほか、リノベーションされた店舗の再活用による、あらたな商店街づくりがすすめられています。



<現在のながせ商店街>

### 人口と世帯数の動き

2020年9月1日現在

総人口

109,768人 (前月比 -44人)

男 53,455人 (前月比 -20人)

女 56,313人 (前月比 -24人)

世帯数

47,297世帯 (前月比 +22世帯)

### 文化財みつけた

#### 耳神さま

小泉町3丁目



昔、大原に住んでいたとても親切なおじいさんが、「耳が痛い」と言って亡くなりました。それを悲しんだ近所の人々が、耳の病気で苦しむ人がないようにと耳神さまを祀りました。耳神さまを祀るお堂では、耳を押さえて苦しむ顔と治って笑っている顔の鬼瓦を見ることができません。耳の病気が治ると竹で作った錐が奉納されました。



スマートフォンで  
広報たじみを  
持ち歩く！

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課  
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町21目15番地  
TEL.0572-22-1111 FAX.0572-24-3679  
E-mail hisyokoho@city.tajimi.lg.jp  
開庁時間 8:30~17:15  
https://www.city.tajimi.lg.jp/



多治見市緊急メールに登録してください  
携帯電話に緊急情報を送信します  
https://service.sugumail.com/tajimi



# 美濃焼デコレーション事業

～まちを美濃焼タイルで彩ります～

カフェ ママズプラス  
(ヤマカまなびパーク1階)



地元的美濃焼タイルを用いて、ほかのまちでは見ることのできないような多治見ならではの景観づくりを目指しています。

これまでに、ながせ商店街を中心として、まなびパーク1階ママズプラスの「まちなかオープンカフェ」のテーブルや、商店街の看板などを美濃焼のモザイクアートで装飾しています。

今後は、駅南から本町オリベストリートまで動線をつなげるため、多治見橋のデコレーションを進める予定です。

問 産業観光課 TEL 22-1252

昨年行われたモザイクタイルアートワークショップの様子

